

6月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

74,944円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	13,510円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,501円
通信費(携帯電話、折込)	48,933円
支出計 15/6/1~15/6/30	74,944円

寄付 〇さん、匿名さん

13,000円

市政を考える

月刊武松

発行日

15/7/1

第152号

16100部発行

たけまつ ただし

頒布責任者: **武松 忠(市議会議員)**
武松政策研究会

小田原城天守閣耐震改修!?

工事に伴う休館は、2015年7月1日から2016年4月下旬まで!

■2015年7月1日から2016年4月下旬まで休館

小田原城天守閣は、耐震改修工事及び展示更新のため休館します。なお、小田原城歴史見聞館、遊園地など城址公園内他施設は、工事期間中も通常通り営業します。

■継続使用には耐震補強が必要

2012年度に実施した耐震診断の結果、今後継続的に使用するためには耐震補強が必要であるとの診断内容だったことから、来館者の安全確保のために工事を行うものです。なお、2013年3月に一部耐震改修工事を行い、耐震補強の専門家からは当面は使用可能との意見をいただいていた。

■工事期間中の入場と外観

工事期間中は入ることができません。天守閣全体の工事となるため、来館者の安全を考慮して休館します。また、屋根・外壁等の改修に際し、天守閣全体が工事足場及びシートで覆われますので、これらの工事を行っている間は、見られなくなります。

■城址公園内の他施設は通常通り開館・営業

小田原城歴史見聞館など天守閣以外の各施設は、通常どおり開館・営業します。また、城址公園内の常盤木門やHaRuNe小田原内「ハルネギャラリー」などを活用したイベントを予定しています。更に、普段は公開されていない銅門内部の一般公開も行う予定です。

■展示は全面更新

小田原城を中心に、小田原の歴史的魅力を伝える、ストーリー性のある展示になります。

1階: 江戸時代の小田原城

2階: 小田原北条五代の歴史や戦国時代の小田原城の様子を紹介

4階: 摩利支天像の祀られていた空間を木造で再現(図1)

■摩利支天 まりしてん 原語のMaricilは、太陽や月の光線を意味する。摩利支天は陽炎(かげろう)を神格化したものである。陽炎は実体がないので捉えられず、焼けず、濡らせず、傷付かない。隠形の身で、常に日天の前に疾行し、自在の通力を有すとされる。(一部省略)日本では、護身、蓄財などの神として、中世以降信仰を集めた。楠木正成は兜の中に摩利支天の小像を箆めていたという。また、毛利元就は「摩利支天の旗」を旗印として用いた。山本勘助や前田利家といった武将も摩利支天を信仰していたと伝えられている。

(ウィキペディアより抜粋)

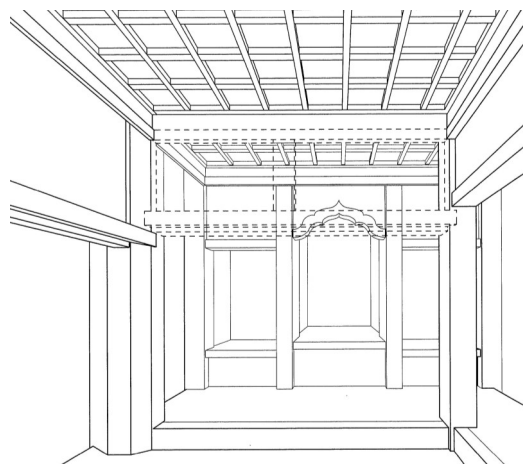


図1 摩利支天を祀る空間の復元パース

小田原城天守最上階に祀られていた摩利支天像は、現在も復興天守最上階の、三層天守の姿をした厨子の中に安置されている。この像は武士の守りの本尊とされ、貞享3年(1686)に小田原藩主大久保忠朝が、天守に奉安したものであり、元禄16年(1703)の大地震で天守は全焼したが、この像のみ災いを免れたので、御天守摩利支天と呼ばれ、さらに尊崇されたといわれている。大久保神社模型と東博模型の2基の模型には摩利支天像を祀る空間が再現されており、この像の周りに他の天守七尊(大日如来・阿弥陀如来・如意輪観音・弁天天女・子安地藏・薬師如来)が安置されていたことなど、この調査により新たな知見を得ることができた。

(小田原城天守模型調査報告書より抜粋)

耐震工事他改修概要

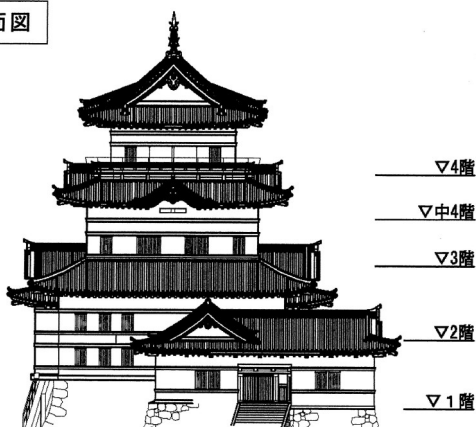
■耐震・展示更新工事内容

総事業費：約9億9000万円

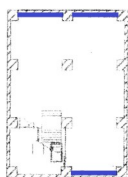
工事内容：

耐震壁等設置、スリット（切り込み）加工
屋根補修、外壁全面塗装、
機械設備工事、電気（空調）設備工事、
展示制作設置業務（摩利支天空間再現業務含む）、
工事監理

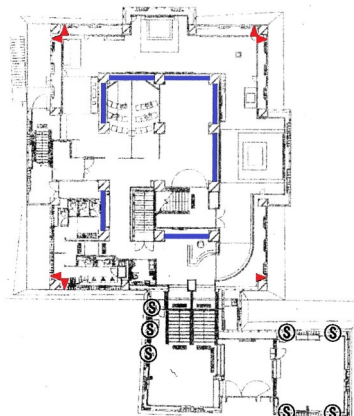
南側立面図



地下1階平面図



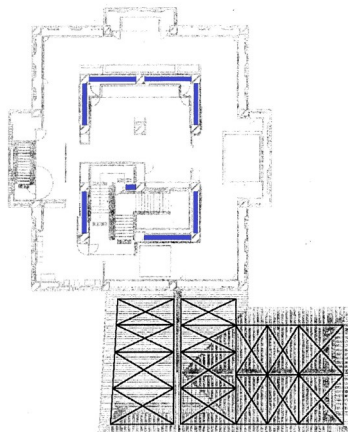
1階平面図



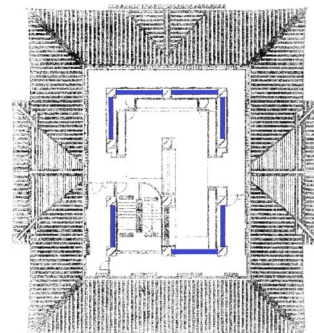
凡 例

	耐震壁
	耐震スリット
	鉛直鉄骨ブレース

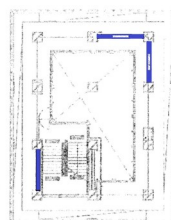
2階平面図



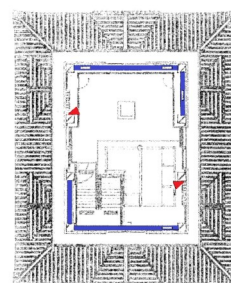
3階平面図



中4階平面図



4階平面図



凡 例

	耐震壁
	耐震スリット
	水平鉄骨ブレース

用語解説

耐震スリット

壁の一部を切り、柱への応力集中を下げる施工

鉛直鉄骨ブレース

柱と梁の内側から鉄骨の筋違枠で補強

水平鉄骨ブレース

梁の内面から鉄骨の筋違枠で補強

武松政策研究会からのお知らせ

7月の個人議会報告会は、都合により中止します。

8月の月刊武松発行配布は、都合により中止します。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>



HPは、「たけまつただし」で検索 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通 0051228 武松政策研究会 武松忠